

## 第10回 通常総会 議案書

日 時 2017年2月25日(土) 16時00分～

場 所 そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター  
岩見沢市1条西4丁目3 ☎0126-24-9901

1. 開 会
2. 理事長挨拶
3. 議長・議事録署名人の選任
4. 議案審議
  - 第1号議案 2016年事業活動報告
  - 第2号議案 2016年活動決算報告、監査報告
  - 第3号議案 2017年事業活動計画
  - 第4号議案 2017年活動予算
  - 第5号議案 役員改選
5. 議長退任
6. 閉 会

### 第1号議案 2016年事業活動報告(2016年01月01日～12月31日)

設立から第10期めの節目である2016年は、そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター(以下「マネジメントセンター」)の独自財源による運営が安定的に推移するとともに、炭鉄港や赤平立坑の保全などこれまで進めてきた取り組みの成果が現れはじめました。以下、各事業ごとに、2016年の活動についてご報告します。

[活動計画に対して：○=達成 △=途上 ×=未了]

#### ■出版事業

×ブックレットの刊行：他の業務が忙しく刊行に至りませんでした。

#### ■炭鉱遺産事業

- 石炭博物館のリニューアル計画への参画と支援：夕張市の石炭博物館は、2016年度に模擬坑道改修を終え、2017年度には博物館の機能・展示の更新を行う予定です。2018年度のリニューアルオープン後は当NPOの積極的関与の期待が高いことから、現段階から様々な局面で関与・支援しました。
- 炭鉄港キャンペーンの継続：2010年から展開してきた「炭鉄港」は、日本遺産への登録に向けた活動へとステップアップしつつあり、空知総合振興局の事業と連動して各方面への働きかけが進みました。現在、空知総合振興局から「炭鉄港ストーリー構築事業」を受託し検討作業を続けているほか、関係自治体議員による「炭鉄港議員連盟」の組織化に向け準備を進めています。
- 炭鉱遺産の保全・活用に向けた活動：2016年7月に赤平市による赤平立坑の取得が実現し、整備活用の具体策検討に積極的に関与しました。また、赤平立坑と対になって保全活用が図られるべき三笠市の奔別立坑をクローズアップするために、急遽、「そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト2016〈Klein〉」を10月に開催しました。このほか、炭鉱の記憶の価値の掘り起こしのための基礎的な取り組みとして、7月に元北炭技術職員の深井哲さんの講演会「幌内・夕張の炭鉱技術とともに働いた人たち」、9月に「万字炭鉱写真展」、10月に元京都大学教授の西山卯三の写真展「西山

卯三が見た戦後の炭鉱」をマネジメントセンター石蔵で開催しました。また、空知総合振興局の事業に協力して炭鉱遺産の現況調査を行い、その成果は2017年3月に取りまとめられる予定です。

#### ■学術支援事業

- 歴史的経緯を踏まえた鹿児島との交流の強化**：2016年2月に(株)島津興業と空知総合振興局の連携協定が締結され、11月には企業版ふるさと納税が決定するなど、当NPOが媒介した鹿児島とのつながりが進展しました。連携協定の締結を記念して、2月の締結式の後には(株)島津興業の特別協賛を得て「島津の夕べ焼酎ナイト」を開催、6月には管内自治体に呼びかけて鹿児島をはじめ九州地区の産業遺産を視察ツアーを開催しました。
- 空知産炭地域に対するリファレンス業務や史料の受け入れ保存と産業遺産活動の支援**：美唄青年会議所の「炭鉱の記憶子ども大使プロジェクト」に協力するなど、空知各地での炭鉱の記憶に関する事業へ積極的に支援・関与しました。マネジメントセンターへの資料寄託も、依然として断続的に続いています。

#### ■市民団体連携事業

- 管内の機関・団体との関係の強化**：活動の様々な局面を通じて、管内の他団体との関係を引き続き強化しました。市町村賛助会員の職員（主として地域おこし協力隊）を対象とした長期研修や、9月には岩見沢市の情熱フェスティバルで「炭鉱グルメ」を開催しました。
- 国内外の関係者・団体へのアピールと受入対応**：マネジメントセンターには各地各所から多様な求めが寄せられ、積極的に対応しました。

#### ■拠点施設事業

- そらち炭鉱の記憶マネジメントセンターの継続安定的な運営**：限られた経営資源の制約の中で、マネジメントセンターの開館を継続し、十全な機能を発揮することができました。2016年1～12月の入館者数は5,088名（2015年4,356名）で、その数を伸ばしつつあります。
- 企画展示の充実**：前の「炭鉱遺産事業」でも述べた通り、石蔵を活用した催事を連続的に開催しました。8月には、運営会員の溝口雅明さんが万字に開設したジンギスカン鍋の私設博物館と連動企画として「ジン鍋博物館 in 石蔵」を開催しました。現在も会員所蔵の史料を活用した展示を企画中で、今後とも自主展示の合間に会員の知見を活用した展開を模索する必要があります。

#### ■ヘリテージツーリズム事業

- ×**地域限定旅行業の登録の模索**：資産基準欠格の恐れがあるため、今期も登録を延期せざるを得ませんでした。今後とも財務基盤の強化を図り申請の機会を狙います。
- △**営業実績の積み重ね**：他社ツアーのガイド受託、各種催事・視察の手配業務など継続しました。

#### ■会務

- △**賛助会員の拡大**：(株)島津興業が賛助会員として5口加入して頂いた他、徐々にではありますが賛助会員拡大の気運が高まりつつあります。
- △**会員サービスの充実**：様々な媒体を使い活動情報の発信に務めました。特にブログは、NPOの動きをリアルタイムに伝えるツールとして、広く認知され定着しています。会員に対しては、刊行物の無償配布や、会員交流会の開催などを行いましたが、引き続きサービス向上を目指す必要があります。なお、2016年8月からマネジメントセンター開設時からの事務局員である北口博美さんを事務局長に任命し、活動活発化による事務負担の増大に対応しました。
- ×**広報体制の強化**：北海道地域づくりサポート隊員がマネジメントセンターに駐在し協調展開を図ろうとしましたが、所期の効果を得ることができずと判断し駐在態勢を解消しました。
- 会員数**：[2016年12月末] 総数=322名（昨年末284名）、運営会員=48名（同40名）、一般会員=256名（同228名）、賛助会員=18社団体（同16社）、[動静] 入会=54名（同56名）、退会=16名（同34名）、種別変更=7名（同1名）

**第2号議案** 2016年度活動決算報告、監査報告

2016年 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

2016年12月31日現在

単位：円

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
<b>1 流動資産</b>		
現金	4,106	
普通預金 北洋銀行	1,605,021	
普通預金 空知信用金庫	909	
普通預金 北海道労働金庫	4,349	
郵便振替口座	379,966	
現金・預金小計	1,994,351	
売掛金	175,500	
棚卸資産 [販売用書籍]	164,648	
貯蔵品 [バス回数券]	2,665	
前払費用 [家賃]	200,000	
未収収益 [受託調査料]	830,000	
流動資産合計		3,367,164
<b>2 固定資産</b>		
什器備品	223,125	
減価償却累計額	▲ 223,124	
有形固定資産小計	1	
敷 金	50,000	
投資その他の資産小計	50,000	
固定資産合計		50,001
資産合計		<u>3,417,165</u>
<b>II 負債の部</b>		
<b>1 流動負債</b>		
預り金 [社会保険料]	23,930	
流動負債合計		23,930
<b>2 固定負債</b>	0	
固定負債合計		0
負債合計		23,930
正味財産		<u>3,393,235</u>

2016年 その他事業会計 財産目録

2016年12月31日現在

該当事項なし

2016年 特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

2016年12月31日現在

単位：円

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
<b>1 流動資産</b>		
現 金	4,106	
普通預金 北洋銀行	1,605,021	
普通預金 空知信用金庫	909	
普通預金 北海道労働金庫	4,349	
郵便振替口座	379,966	
現金・預金小計	1,994,351	
売掛金	175,500	
棚卸資産 [販売用書籍]	164,648	
貯蔵品 [バス回数券]	2,665	
前払費用 [家賃]	200,000	
未収収益 [受託調査料]	830,000	
流動資産合計		3,367,164
<b>2 固定資産</b>		
什器備品	223,125	
減価償却累計額	▲ 223,124	
有形固定資産小計	1	
敷 金	50,000	
投資その他の資産小計	50,000	
固定資産合計		50,001
資産合計		<u>3,417,165</u>
<b>II 負債の部</b>		
<b>1 流動負債</b>		
預り金 [社会保険料]	23,930	
流動負債合計		23,930
<b>2 固定負債</b>	0	
固定負債合計		0
負債合計		<u>23,930</u>
<b>III 正味財産の部</b>		
1 前期繰越正味財産		3,358,134
2 当期正味財産増加額		35,101
正味財産合計		<u>3,393,235</u>
負債および正味財産		<u>3,417,165</u>

2016年 その他事業会計 貸借対照表

2016年12月31日現在

該当事項なし

## 2016年 特定非営利活動に係る事業会計 活動計算書

2016年1月1日～2016年12月31日

単位：円

科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費		
受取会費	2,157,000	
2. 受取寄付金		
受取寄付金	253,455	
3. 事業収益		
商品販売	556,918	
書籍販売	822,228	
飲食	425,140	
ガイドツアー	155,888	
受託業務	9,341,000	
その他	566,333	
4. 助成金		0
5. 補助金		
道空知総合振興局	3,000,000	
6. その他収益		
受取利息	387	
経常収益合計		<u>17,278,349</u>
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		
(1)人件費		
給料手当	3,191,400	
法定福利費	293,501	
人件費計	3,484,901	
(2)その他経費		
売上原価	575,611	
謝金	5,720,736	
通信費	267,298	
光熱用水費	336,821	
旅費交通費	2,216,020	
旅費日当	346,500	
交際費	56,748	
会議費	304,659	
消耗品費	841,997	
図書費	144,014	
印刷費	601,668	
地代家賃	550,000	
保険料	59,242	
委託料	92,000	
租税公課	15,380	
諸会費	104,300	
賃借料	813,790	
支払手数料	100,576	
職員研修費	17,256	
雑費	25,044	
その他経費計	13,189,660	
事業費合計		16,674,561
2. 管理費		

(1)人件費			
給料手当	100,000		
法定福利費	0		
	人件費計	100,000	
(2)その他経費			
謝金	180,000		
通信費	9,087		
旅費交通費	17,560		
会議費	5,750		
印刷費	13,489		
租税公課	154,000		
	その他経費計	379,886	
	管理費合計	479,886	
経常費用合計			17,154,447
<b>Ⅲ 経常外費用</b>			
固定資産除却損		1	1
当期正味財産増加額			123,901
法人税・住民税・事業税		88,800	88,800
前期繰越正味財産額			3,358,134
当期正味財産合計			3,393,235

**2016年その他事業会計 活動計算書**

2016年1月1日～2016年12月31日

該当事項なし